

「校長たより」にアクセスいただいた皆様

「校長たより」にアクセスしていただき、ありがとうございます。今回は、次の4つを掲載いたしました。

①きらっと光る子どもたちの生の声

- 一生懸命さが伝わってきました！ ～城ヶ丘ふれあいフェスティバルの振り返り～
- 楽しさが伝わってきました！ ～小1, 2組合同ハロウィンパーティーから～
- みんなで行って来れた満足感、伝わってきました！～小3組六日町への校外学習～

②キラッと輝くエピソード

- 校長室入口のかわいい飾り ～中1年生3名からの贈り物～

③本校の教育活動

- 一人一人の可能性は無限大 ～中学部2, 3年生の職場体験学習から～
- 「まだ難しい」ではなく、「まず、やってみよう」へ
～小学部体育科「シュートゲームにチャレンジ」～

○第2回拡大主事会

④雪道の運転は慎重に！

お読みいただき、本校の教育活動にご理解いただくとともに、ご指導ご助言いただきますようよろしくお願い申し上げます。

校長 上松 武



令和6年11月25日



チームふれあい 27人の先生方へ

「なかよく たのしく たくましく」生きる

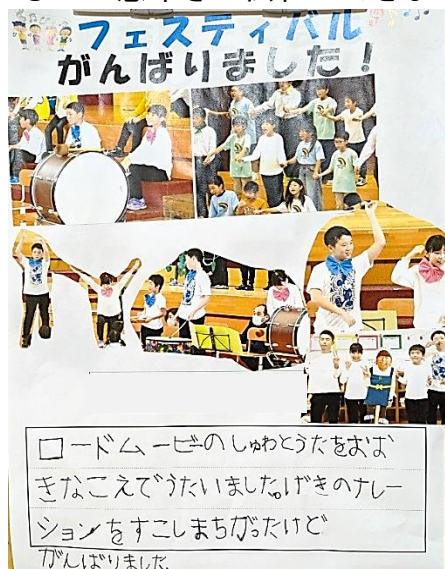
子どもの育成を目指して⑩ -1125 校長たより-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう！幸せにしよう！～

上松 武

1 きらっと光る子どもたちの生の声

○一生懸命さが伝わってきました！ ～城ヶ丘ふれあいフェスティバルの振り返り～



- ・時間のある時に各教室を覗かせてもらっています。廊下の掲示物から、一人一人が感じたことやがんばったことが伺えます。
- ・小4組のフェスティバルの振り返りを読んでいた時に、左のシートに目が留まりました。「大きな字でしっかりと書いていて、とても読みやすい」と感心しました。
- ・きっと、フェスティバルまでの学習や当日の緊張感や達成感など、様々な気持ちが文字になって表れているんだろうな～と思って読みました。
- ・これから取り組む学習で、どんなことを感じ、どんなことを学ぶのか、振り返りシートを読むことが楽しみです。

○楽しさが伝わってきました！ ～小1, 2組合同ハロウィンパーティーから～

- ・すっかり日本の季節行事として定着した「ハロウィン」。小学部でも好きな衣装を選ぶ、仲間と協力して調理する、お菓子をもらった時のお礼を言うなど、日常生活に必要な力の育成を目標としながら、学習していました。

- ・右の振り返りシートから当日のパーティーの楽しさが十分すぎるほど伝わってきました。にわとり魔女を自分で選択したことや衣装を自分で決めて身に付けて魔女になりきったことなど、楽しく学習しながらも、「自分で選ぶ」という大事な力を身に付けているな〜と嬉しく思いました。

○みんなで行って来れた満足感、伝わってきました！

～ 小3組六日町への校外学習から～

- ・小学部3組は、鉄道を使いながら、隣の南魚沼市六日町まで校外学習に出掛けてきました。来年度の修学旅行を視野に入れての学習であると聞いています。
- ・クラス4名全員の振り返りシートが掲示されていました（下の写真）。たくさんの内容が書かれていたのので、担任の先生に聞いたところ、めあてがたくさんあり、そのめあて一つ一つを振り返りながら書いたとのことでした。
- ・また、振り返りシートが教室の中ではなく、全員分をボードに貼り、十日町小の児童の目にも触れるようにオープンスペースに掲示されていました。何気ないことかもしれませんが、お互いの学びに触れる機会をつくり出すいい方法です。



- ・この校外学習の経験が、普段の生活にも生かされるといいな〜と思っています。
- ※←ぜひ実物をご覧ください。



2 きらっと輝くエピソード

○校長室入口のかわいい飾り ～中1年生3名からの贈り物～

- ・先日、中学部1年生3名からかわいらしい飾りをいただきました。ハロウィンの季節でしたので、ガイコツやカボチャなどがはさみで上手に切り抜いて作られていました。
- ・生徒から「どのようにして作ったのでしょうか」と質問を受けました。
- ・答えは、二つ折りにして切り抜いたり、切り取ったりしたとのことでした。開いたら左右同じようになり、美しかったのだからな〜、そんな工夫をしてうまくできた喜びが込められた飾りでした。12月もお願いします！

3 本校の教育活動

(1) 授業改善

○一人一人の可能性は無限大 ～中学部2, 3年生の職場体験学習から～



- ・今年度から、生徒一人一人の興味関心や持っている力と育てたい力などの視点から、個々に合った職場体験ができるように計画し実施しています。
- ・職場体験学習は、11月12日(火)と11月19日(火)の2日間、お昼を挟んで午前10時から午後2時まで体験させていただいています。
- ・1日目(11/12)、ご挨拶を兼ねて、本校の趣旨に賛同し今年度受け入れてくださった「妻有農産」と「ミートコンパニオン」での生徒の仕事に向かう姿勢を見学してきました。

- ・従業員の方々と同じ仕事を、同じ空間で行っていたことにとっても驚きました。職場にはピリッとした雰囲気、自然と緊張感が高まるような空気感に包まれていま



した。きっと、生徒たちも同じことを感じながらも、長時間立って仕事をし続け、手を抜かず繰り返しの作業に取り組んでいたと私は思いました。

- ・生徒たちの感想は、「疲れたけど、楽しかった」「また、行きたい」など、実に頼もしいものでした。従業員の方々からも「明日もまた来てくれるの?」と声を掛けていただいたそうです。
- ・今年度からの取組ではありますが、かなりの手応えを感じました。「どうせ無理かも」や「できな
いに決まっている」といって、安易にあきらめる
ことなく、「そっか～、じゃあこうしてみよう」
と教師や事業所の方々とはできる方法を見つけ出し、チャレンジする心を育てる、そんな授業づくりを目指していきましょう。

○「まだ難しい」ではなく、「まず、やってみよう」へ

～小学部 体育科「シュートゲームにチャレンジ」から～

- ・昨年度、この時期に学部全体でバスケットボールに取り組んでいました。より高いゴールにシュートして入ったことに達成感や満足感を感じていた姿を思い出します。
- ・今年度もバスケットボールに取り組んでいるが、チーム編成をしてゲームをすることに挑戦しています。
- ・授業をみていると、攻める側は、パスをもらおうと同じ方向に走り、パスをもらって、シュートが決まり、みんなで喜んでいきます。守る側は、シュートをさせまいと、手を上に挙げたり左右に振ったりして防いでいます。

- ・何となくゲームになっていることに驚きました。「子どもたちが個別でシュートする学習」から、「みんなでシュートする学習」へと段階が上がったのでしょうか。
- ・10月の車椅子バスケットボールの体験が大きく影響しているのではないかと思います。これまでの学習をしっかりと積み重ね、子どもたちの経験値を次の学習活動に結び付ける発想が大切だと考えさせられました。



- ・そして、先生方の「やってみようよ」というチャレンジの結果であると考えています。「チャレンジ」は人を成長させます。成功しても、失敗しても、そこには学びがあります。特に、失敗から何を子どもたちは学ぶのか、教師は何を学ばせるのか。授業改善の大きなポイントだと考えます。

(2) 業務改善

○第2回拡大主事会

■学校間（同世代間）交流
・学校数や交流の目的、居住地校交流との兼ね合いなどの点から実施の方向性を定めて、各校に周知。

10月29日 臨時学部会①まとめ

	小		中	
	◎継続 ○改善して継続 △廃止 ※今後再検討	◇良い点 ◆課題	◎継続 ○改善して継続 △廃止 ※今後再検討	◇良い点 ◆課題
■学校間（同世代間）交流	◎学校数の適正化が必要 一学校数を絞る。単発ではなく、年間の計画（例えば、総合など）に位置付けてある学校が望ましい。	◇いろいろな友達とかかわる機会 ◇他校にふれあいのことを知ってもらう機会 ◆数が多いと負担 ◆学校によって取組に差（明確な目的の有無等）	◎実施前だが、来年度は継続	
■持久走大会	◎持久走に取り組むことの意義を確認 一十小と一緒に考えていく必要あり	◇十小の児童と走るよさ（モチベーション・ペース・相互理解） ◆学年がまたがる学級は練習への参加が難しい	◎今年度並みで実施 一練習回数の確保	
■木工教室・ちんころづくり体験教室	◎地域の交流として継続実施	◆毎年でなくてもよい？間が空くと継続実施（計画）が難しくなる？	◎これまでどおり隔年で実施	
■交流活動	◎回数や内容を考慮しながら継続 一実態や目的に合わせて参加する活動を精査 一ふれあいから働きかける活動も計画したい。	◇貴重な機会 ◇春の顔合わせ会により声をかけやすくなった。 ◆学年によって交流の差がある。低学年は日常的に誘い合っている。学年が上がると減る。 ◆学年をまたいでいると見通しがもたにくい。	△一部廃止 →清掃・食器洗いレクチャーを廃止 →カーニバル缶バッジ制作は継続 →同世代や上の世代（高等部・地域の大人）との交流に重点を移行	◆生徒の実態を考えてレクチャー廃
■宿泊体験学習（自然教室）	◎参加学年の見直し（段階的に） 一R8から変更。6年生の宿泊は、修学旅行のみとする。 一3年は日帰り。4・5年生は1泊。	◇同時期に6年修学旅行であれば事前学習と一緒にできるものがある。 ◇5年生がリーダーになる機会 ◆今後の児童の実態を考えると、3年生からの参加が難しい。3年生は1日だけ参加し、次年度の見直しをもたせる。	※中2年の宿泊体験は、次年度は行わない。新入生の実態を見て検討 一入浴施設利用の学習は継続	

■持久走大会
・フェスティバルの練習日程を立てる際、中学部持久走練習の日程も考慮。

■木工・ちんころ
・これまで通りの実施。

■交流活動
・「今やっている学習活動」に十小児童が参加するという発想で交流活動を実施。

■宿泊体験学習（自然教室）
・実施する学年や実施時期を検討。

- ・11月14日（木）に2回目の拡大主事会を実施しました。
- ・上の表のように臨時学部会での検討結果が報告され、それに対して吹き出しのような方向付けを拡大主事会で行いました。今後、再度臨時学部会で確認協議をします。
- ・特に、交流活動では、今やっている学習活動を十日町小から見てもらったり、部分的に一緒にやってみたりする「ふれあい発信」による交流活動を、次年度は積極的に実施していこうという方向性を出したところです。
- ・新たな交流活動を企画実施するのではなく、「今やっている学習活動」に十日町小の児童が参画する発信で、交流及び共同学習を深化充実させていきましょう。
- ・「今やっている活動」を生かした交流活動の推進が、結果的に業務改善につながっていくと考えています。

3 その他

(1) 雪道の運転は慎重に！

- ①雪の降り始めの時期や低温、凍結時の交通事故が例年多発しています。
- ②次のことを確実に実行しましょう。
 - ・急発進、急ブレーキ、急ハンドルをしない
 - ・十分な車間距離をとる
 - ・ゆとりを持って運転する（スピードを出さない）

